

研究紹介

【種 目】基盤研究(C) (一般)

【採択機関】東北文化学園大学

【研究期間】2015年4月1日～2018年3月31日(予定)

Frailty (虚弱) が医療・介護費用へ及ぼす影響と 介護予防の虚弱予防効果の検証



教授 吉田 裕人

医療福祉学部保健福祉学科
大学院健康社会システム研究科

岡山大学農学部総合農業科学科卒業
岡山大学大学院農学研究科修士課程修了
岡山大学大学院自然科学研究科博士課程修了
東京都健康長寿医療センター研究所(東京都老人総合研究所) 研究員
現在、東北文化学園大学医療福祉学部保健福祉学科 教授
東北文化学園大学大学院健康社会システム研究科 教授

- 学位 農学修士/博士(学術)
- 専門分野 医療経済学、地域保健など
- 出身地 京都府京都市
- 好きな言葉 実るほど頭を垂れる稲穂かな

「Frailty (虚弱) が医療・介護費用へ及ぼす影響と介護予防の虚弱予防効果の検証」というテーマで科研費研究(基盤研究C)に採択されました(研究課題番号: 15K08817)。

本研究の目的は、Frailty (虚弱) が地域高齢者の将来の医療・介護費用に及ぼす影響を分析し、介護予防を目的とした自治体主催の教室活動などによって、自立した高齢者が「虚弱」を予防できるかを調べ、さらに「虚弱」予防の費用抑制効果を検証することです。

Frailty (虚弱) は高齢期に様々な要因が関与して生じ、多臓器にわたり生理的予備能が低下するためストレス耐性が減弱し、adverse health outcomes (障害発生、入院・入所、死亡など) を起こしやすい病態とされていますが、我が国においてはまだその認知度は低く(日本老年医学会は、近年、Frailty (虚弱) の重要性がクローズアップされているにもかかわらず、医療・介護専門職にはほとんど認識されておらず、介護予防や臨床での適切な対応の障壁となっていることから、広く周知することを目的として、2014年5月13日、高齢者のFrailty (虚弱) を表す用語として「フレイル」を使用することを学会ホームページに発表しました)、その医療・介護費用への独立した影響を分析することは、「虚弱」予防によって高騰する医療・介護費用抑制の可能性の検証の意味からも、学術的かつ有意義であると考えています。